

令和元年度 民間技術発表会(第1回)を開催します

仙台港湾空港技術調査事務所では、民間事業者が開発した新技術等を東北の港湾・空港整備に有効活用することを目的に、職員と民間事業者の方との意見交換の場として、民間技術発表会を開催します。

当発表会は、平成16年度から開催しており、これまでに延べ169の技術が発表されております。

今回、以下の7つの技術を発表しますので、お知らせいたします。

1. 開催日時: 令和元年8月23日(金) 13時30分～16時50分(受付開始: 13時から)
2. 開催場所: 国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 会議室
(仙台市青葉区本町3-1-1 仙台合同庁舎B棟9F)
3. 発表論題
 - 1)【D・Box工法】
トロフィカビリティが確保できない工事用道路やヤードの施工において、特殊土のうを用いることで経済的で施工が容易となる技術。
 - 2)【グラスグリッド(GlasGrid®)】
道路のひび割れの発生を抑制するシート状の素材を用いることで、長寿命化やメンテナンス費用が抑制可能となる技術。
 - 3)【大船渡港の海域環境解析と簡易モニタリング手法】
大船渡港の海水交換効果を活用した、簡易的な海域環境モニタリング手法。
 - 4)【タフリードPJ工法】
栈橋鋼管杭の杭頭部付近が劣化損傷した場合の補修技術で、従来技術の課題を解決した工法。
 - 5)【CIMを活用した施工状況シミュレーター】
構築物に工程を加えた4Dシミュレーションを実施後、3D建設機械及び仮設機器群を配置するだけで、施工検討が可能な技術。
 - 6)【消波工の3次元ソリッドモデリング技術】
消波工の測量点群に消波ブロックの3Dモデルを自動配置して、既設現況や出来型等を再現する技術。
 - 7)【海底微動アレイ探査】
海底地盤調査において、地盤のS波速度構造を推定できる海底微動アレイ探査を開発により、迅速な調査が可能な技術。

4. 発表要領

発表時間は1技術あたり25分程度

<発表記者會: 宮城県政記者會、東北電力記者會、東北専門記者會>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-1-35 三共仙台東ビル7F
副 所 長 工 藤 昭 光
技術開発課長 川 井 茂 電話 022-791-2114